



かわ せ ぶち ところ ところ
川の瀬、淵、澗はどんな所なの

かわ じょうりゅう
川の上流のようす

かわ じょうりゅう ヴィー ジがた き た たに み
川の上流では、V字型をした切り立った谷などが見られます。また、ところどころに、
たき み
滝を見かけることもあります。

じょうりゅう かわ かたむき きゅう みず なが はや かわ みず
上流は川のかたむきが急で、水の流れが速いので、川の水のけずるはたらき(しん 食
さよう はこ うん さよう おこな
作用)と運ぶはたらき(運ばん作用)がさかに行われています。切り立った谷ができて
いるのは、このはたらきのためです。

かわ ちゅうりゅう せ ぶち ところ あらわ
川の中流で瀬、淵、澗がはっきり現れる

かわ ちゅうりゅう なが かわ ひろ なが かわ
川が中流あたりまで流れてくると、川はばが広くなって、流れがゆるやかになり、川の
うん さよう め た
運ばん作用が自立つようになります。

かわ せ あさ なが はや ところ ぶち ふか なが
川には、瀬とよばれる浅くて、流れの速い所と、淵とよばれる深くて、流れのゆるやか
ところ
な所があります。

せ なが はや はやせ なが ひらせ ちゅうりゅう はやせ ひらせ
瀬には、流れの速い早瀬と、流れのゆるやかな平瀬があります。中流では、早瀬と平瀬
それに、ふち
淵がはっきりと現れます。

ふち なか なが とく ところ ところ さいたまけん あらかわりゅういき
淵の中でも、流れが特にゆるやかな所を、澗とよんでいます。埼玉県さいたまけんの荒川あらかわ流域りゅういきにある
ながとろ とろ ちめい
長澗は、澗のつく地名です。(監修・国司 真)

